



都心を走る「ペロタクシー」

月刊

あじえんだ

2008年

6月



みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信
月刊あじえんだは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です

事務所 〒612-0031 京都市伏見区
深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F
活動支援室内
TEL : 075-647-3535 FAX : 075-647-3536
E-mail : ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

事務局 〒604-8101 京都市中京区柳馬場通
御池下ル柳八幡町65
京都朝日ビル4F
京都市総合企画局地球温暖化対策室内
TEL : 075-211-9281 FAX : 075-211-9286

京のアジェンダ
21フォーラム

2008年度フォーラム総会・会員交流会を開催します。 6月13日（金） からすま京都ホテル3Fにて

下記のとおり、2008年度フォーラム総会および会員交流会“サロンdeエコ”を開催します。
年に1回、会員が一堂に会する機会です。ぜひご参加ください。

● 2008（平成20）年度フォーラム総会

日時と会場 6月13日（金）18時～19時
からすま京都ホテル 3F 紫明の間
（京都市下京区烏丸通四条下ル
TEL:075-351-5745）

議案（予定）

- 1 2007（平成19）年度事業報告について
- 2 2007（平成19）年度収支決算について
- 3 2008（平成20）年度活動方針および事業計画について
- 4 2008（平成20）年度収支予算について
- 5 京のアジェンダ21フォーラム規約の改正について
- 6 幹事・監事の追加選任について

★お願い★

ご出欠および議事の委任について、さきに会員の
皆様に郵送でお届けしています返信ハガキもしくは
電子メール等で事務局までご返信をお願いします。

メール宛先 ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp



● 会員交流会 “サロンdeエコ”

日時と会場 総会后 19時15分～20時30分
からすま京都ホテル 3F 山水の間
（2008年度総会会場の隣の部屋です。
TEL:075-351-5745）

内容

会員同士やワーキンググループ間の交流の場とし
て、また当フォーラムの幹事に会員の声を届ける場
として、交流・親睦を深めます。

参加費

3000円（立食形式 当日お支払いください）

申込方法

総会出欠ハガキもしくは電子メール等で交流会へ
のご出欠をあわせてお知らせください。



2008（平成20）年度フォーラム会費納入のお願い

事務局より会員の皆様に、2008（平成20）年度フォーラム会費の納入をお願い申し上げます。
別途郵送させていただく納入のご案内のとおり、郵便払込もしくは銀行振込にて納入ください。

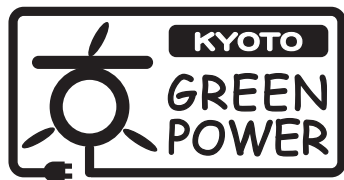
個人会員年会費 1000円

団体会員年会費 1口1000円で2口（2000円）以上

Agenda
Forum
6月の
ミーティングと
主催行事の予定

6月 2日（月）10時～ 市役所寺町第4会議室にて
6月 3日（火）19時～ ecotone事務所にて
6月13日（金）18時～ からすま京都ホテルにて
6月25日（水）17時～ 京エコロジーセンターにて

2008年度第1回幹事会
エコまつりWG運営会議
2008年度総会 および
会員交流会“サロンdeエコ”
KESCおひさまチームミーティング



京グリーン電力証書、販売開始！

証書購入でグリーン電力の“環境付加価値”をプラスして、事業活動等で使う電力を、京都産のグリーン電力にしてみませんか？

●京都独自のグリーン電力制度

「京（みやこ）グリーン電力制度」

フォーラムでは2007年10月に、京都独自のグリーン電力制度、「京（みやこ）グリーン電力制度」を創設し、証書の販売を試行開始しましたが、2008年度より、本格的に「京（みやこ）グリーン電力証書」の販売を開始する運びとなりました。

●“環境付加価値”を証書化して販売します

太陽光などの自然エネルギーを使って作られた電力は、環境にやさしいという“環境付加価値”を持っています。京グリーン電力制度では、京都市内の太陽光発電設備「おひさま発電所」で作られた電力の“環境付加価値”を、証書の形にして、京都市内の事業者・団体・自治体に販売します。

「京グリーン電力証書」を購入することで、事業所やイベント等で使用する電力のうち、証書に記載の電力量と対応する分は、グリーン電力とみなされます。

●「京グリーン電力」のマークを使用して脱温暖化への取組をアピールできます

本制度で証書の購入契約を結ぶと上のマーク（実物はカラー）を使うことができます。印刷物やインターネットでの広報などでマークを使用して、証書購入者の脱温暖化への取組姿勢をアピールできます。



印刷物におけるマークの使用例
(環境付加価値購入者：有限会社紉書房)



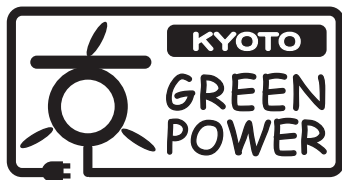
「おひさま発電所」の太陽光発電設備
(京都市北区の大宮保育園)

■「京グリーン電力証書」販売のご案内

1. 証書(グリーン電力の“環境付加価値”)を購入できる方
京都市域の事業者、団体、自治体等とします。
2. 制度の利用対象
電力消費を伴う活動(事業や催し物等)とします。
ただし、直接電力消費を伴わないもの(例：ガソリンを使用する車両の使用等)であっても、排出されるCO₂の量を相当する消費電力量に換算できる場合は、本制度を利用できます。
3. “環境付加価値”の販売価格
10円/kWh(消費税別)とします。なお、紙に印刷した証書(下図)の発行を希望される場合は、証書発行料金として別途2,000円(消費税別)を頂きます。
4. 証書(環境付加価値)の販売単位
今回は、できるだけ多くの方に本制度を活用していただく趣旨から、原則として、購入契約1件あたり1,000kWh～10,000kWhの電力量に相当する環境付加価値を販売します。金額でいうと、証書発行費用を別にして10,000円(消費税別)～100,000円(消費税別)となります。
5. 購入申込方法
まずは、フォーラム事務所に電話、メール、FAXでご連絡ください。申込用紙と説明資料を送付させていただきます。そののち、申込用紙に必要事項をご記入の上、事務所にFAX等でお送りください。
なお、申込用紙は、フォーラムのホームページ※からもダウンロードできます。
※<http://ma21f.web.infoseek.co.jp/>

※証書のサンプル(要発行料金)でもマークを使用できます。





もっと知りたい「京(みやこ)グリーン電力制度」

本年度の証書の購入受付を4月23日より開始しましたが、おかげさまで多くの方々に注目され、事務局に多数のお問合せをいただいています。その際、複数の方からお訊ねいただいた事項について、以下でご説明します。

Q. 京グリーン電力制度の特徴は？

A. 京グリーン電力制度には、2つの特徴があります。

1) 自然エネルギーの地産地消

京都市域の太陽光発電設備で発電されたグリーン電力を、京都市域の事業者等に使ってもらう、自然エネルギーの地産地消の取組です。

2) おひさま発電所の増設に貢献

証書の代金は、認定NPO法人きょうとグリーンファンドの「おひさま基金」に寄付され、おひさま発電所づくり（市民が参加する形で、保育園等の屋根に太陽光発電パネルを設置する取組）の資金として活用されます。

Q. 電力を売ってもらえるのですか？

A. いいえ、電力自体ではなくグリーン電力の付加価値である“環境付加価値”のみを販売します。

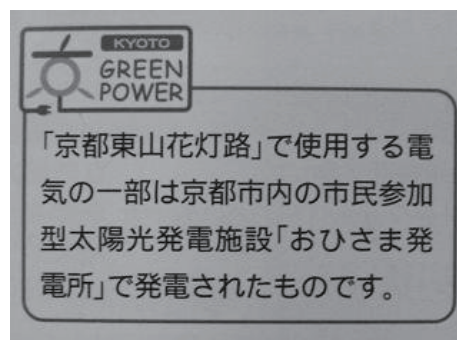
実際にお使いになる電力はこれまでどおり、電力会社からご購入ください。その電力量に証書購入で得た“環境付加価値”を上乗せすることでグリーン電力の使用とみなす、というのが本制度の中心的な考え方です。詳しくは下図をご参照ください。

Q. 昨年度の試行ではどこが「京グリーン電力制度」を使用しましたか？

A. 京都市内のイベントで使われました。

具体的には、「京都・花灯路」(嵐山・東山)と「脱温暖化パートナーシップフォーラム」の2つです。イベント広報のチラシに「京グリーン電力」のマークが入っているのをご覧いただけたでしょうか？

広報
チラシ
使用
の
例



Q. この制度でどれくらいCO₂の排出が減りますか？

A. 火力発電所換算で約33tのCO₂排出削減に相当します。

本年度の“環境付加価値”の総販売枠は、「きょうとグリーンファンド」が市内の幼稚園などに設置した7つの「おひさま発電所」の昨年度の自家消費電力量の合計48,000kWh相当分です。

全ての枠が販売できれば、火力発電所換算 (0.69kg-CO₂/kWh※) で約33tのCO₂排出削減効果が見込まれます。

※環境省中央環境審議会地球環境部会「目標達成シナリオ小委員会中間取りまとめ」

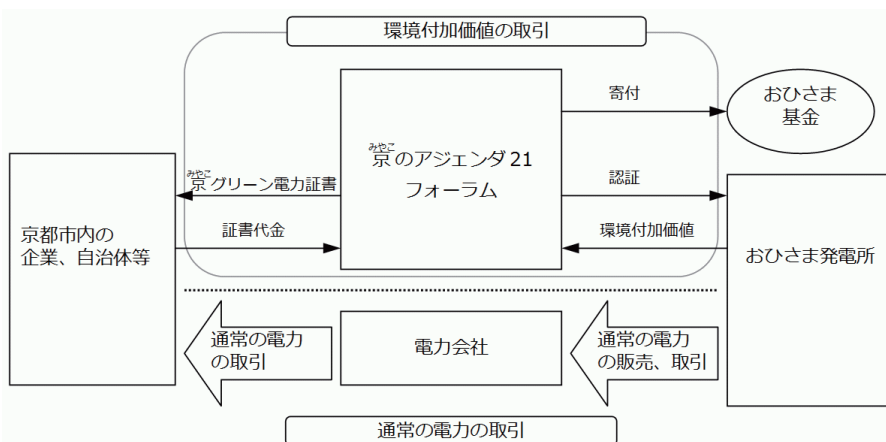


図 「京グリーン電力制度」のしくみ

【お知らせ】フォーラム事務局の事務・会計を担当する職員を募集します。【職員募集】

業務内容	フォーラム事務所における事務処理・会計処理
勤務地	京都市伏見区 京エコロジーセンター2Fのフォーラム事務所
勤務日等	週5日勤務（木曜・日曜・祝日・年末年始が休日）勤務時間10:00から18:45まで
給与等	フォーラム事務局の定めるところによる（詳細はお問合せください） 通勤手当・厚生年金・健康保険・雇用保険あり
資格条件	簿記3級および会計実務経験2年以上を有すること
年齢条件	満年齢で22歳以上64歳まで
募集人数	1名（採用者決定次第募集終了）
問合せ先	TEL 075-211-9281 京都市総合企画局地球温暖化対策室（担当：南）まで



★連載★ 京の交通交流ひろば出張所 第3回 京都の市バス路線は「わかりにくい」か？ 【その2】頻繁に乗る人に好まれるかたち

事務局コーディネーターの長谷川吉典です。連載「京の交通交流ひろば出張所」第3回をお届けします。「京の交通交流ひろば」は、環境にやさしい交通体系の創出

を目指して活動している交通WGのウェブサイト※で、環境を主な視点にしながら京都の交通に関する様々な情報を紹介しています。本連載では、その中から、広くフォーラム会員の皆様に興味深く見ていただけるようなトピックを毎月紹介していきたいと思います。 ※<http://traffic.ifdef.jp>

●わかりにくい？ 不便？ 京都の市バス路線

京都の市バスの系統数は70余りあって、よく「複雑でわかりにくく不便だ」と言われます。市バスの系統は碁盤の目の街路を単に縦横に走るだけでなく、何度も交差点で曲がる経路をたどるものがほとんどで、市バスの系統の全体像が頭に入っている人はなかなかいません。

ですが、今の市バスの系統は実際に利用する人にとって、本当に「わかりにくく不便」なののでしょうか？ 今回は、通勤通学や日常の用事で頻繁に市バスを利用する人にとってどうかを取り上げます。

●市バス利用者の大部分はリピーター(常連客) 興味深い京都市の市政総合アンケート調査結果

地球温暖化防止の面からも、歴史的都市の街路の交通渋滞を軽減する面からも、市民や日常の用事で京都を訪れる皆さんには、マイカーでなく公共交通機関(バス・電車)を利用していただきたいものです。

さて、京都市では毎年度、「市政総合アンケート調査」を実施していますが、2007年度第1回調査※のテーマが「京都市内のバス路線の利用実態とお客様ニーズ」でした。この調査結果を見てみましょう。

※<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000027770.html>

無作為抽出した20歳以上の市民からの回答結果によると、マイカーや自転車等も含めた「よく利用する交通機関」の質問で、回答の1位が市バス(62.1%)でした。

「バスを利用する頻度」の質問では、「ほとんど利用しない」が30.4%ある一方で、「ほぼ毎日」が8.0%、「週に3～5回」が11.2%、「週に1～2回」が14.1%と、バス利用客の中心がリピーター(常連客)であることが読み取れます。

●現在バスを利用する主な理由は？

「目的地まで乗り継ぎなしで行ける」が56.4%

設問の「現在バスを利用する主な理由」に関する回答は、興味深いものがあります。理由の1位は「目的地まで乗り継ぎなしで行ける」で、56.4%と半数以上の回答者が挙げています。2位は「バス停留所が自宅の近くにある」で45.3%、3位が「鉄道駅への接続がよい」で23.0%でした。

●頻繁に乗るからこそ、乗換を余計面倒に感じる

これら上位の回答からは、自宅の近くにバス停があり、目的

地、あるいは鉄道の駅まで1回の乗車で行けるバス路線網が支持されていることがわかります。

すなわち、公共交通サービスの質の評価としては、人々は乗換に抵抗を感じる、頻繁に利用するのであればなおさら、乗換が不要であったり、あるいは乗換の抵抗がなるべく小さいことを好ましく感じる、ということを調査結果は示しているといえます。

●目的地間直結型の 現在の市バス路線網は 利用者ニーズの反映

一見複雑な市バスの路線網ですが、多数の系統を運行して主要な目的地間を乗換なしで結ぶかたちが、頻繁に利用する人々のニーズを反映させたものであることがわかります。

その結果は数字にも表れています。現在の市バスの1日あたり平均の利用客数は約31万人ですが、近年は、敬老・福祉乗車証での利用が減少傾向を示す一方で、それ以外の「一般旅客」(全体利用者数の8割弱)が微増の傾向にあり、リピーターのつなぎとめに成功しています。経営指標でみても、経費節減の努力ともあいまって、市バス事業は2003年度から2006年度の4期連続で黒字決算になっています。

●路線図を手に市バスを使おう

出発地と目的地に共通の系統番号を見つければOK

「京都市バス・地下鉄路線図」は、交通局の定期券発売所や案内所等で無料で配布されています。路線図で、出発地と目的地の両方にある系統番号を見つければ、それが乗換なしで行くことのできる市バス系統です。「最近マイカーばかりで市バスに乗っていないなあ」という方も、脱温暖化社会に向けた最初の一歩として、路線図を手に、市バスに乗ってみてください。



事務局短信

6月13日(金)総会後の会員交流会「サロンdeエコ」の参加者を募集しています。代表をはじめ、フォーラムの役員に対し、フォーラム会員として直接声を届けませんか。参加ご希望の方は電話、メール等でフォーラム事務局までお申込ください。(竹村光世)／私がボランティアをしているNGOが保有するツキノワグマが棲む豊かな自然林で、電力会社による大型発電風車の建設計画が急浮上。CO2を出さない風車ですが、動物が生息地を失わないよう、場所は選んでほしいものです(泣)。(小山直美)／報じられているように、脱温暖化社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組に挑む都市を国が支援する「環境モデル都市」に京都市が応募しました。「DO YOU KYOTO?」～『カーボン・ゼロ』を目指す『地球共生型都市・京都』～と題した提案書が京都市総合企画局地球温暖化対策室のホームページで公開されています。(長谷川吉典)